



11月

第7号 令和6年11月1日

1学年通信

# まじめな努力 = 楽しい時間

担当：鈴木 広八



## \*\* ○ ○ の 秋 \*\*

皆さんは○○の中に何が入りますか？ 芸術、食欲、スポーツが代表的ですね。あと今月の月訓の「読書」でしょうか。近年、若者の文章を読む力が低下していると指摘されています。

いやいやスマホで小説を読んでいる！という人もいるでしょう。一概に全員ではないですが、私が見ている皆さんたちで本を物理的に読んでいる人は少ないです。

新聞も家庭で購読しているのが減っており、みなさんも興味がある記事もないので、年に数回見るか見ないかではないでしょうか。そのために、文字を読んで理解する力「読解力」が養われないのです。そのため試験の問題を理解できず、間違えてしまうということもあると思います。

### 読解力とは

1. 語彙力  
- 単語の意味と使い方を理解し、使いこなす力
2. 要点把握力  
- 情報の核心をつかむ力
3. 複雑性対応力  
- 文章をはじめとした情報の構造をとらえる力



## \*\* 進路決定時に「読解力」は必要！ \*\*

そんな「読解力」の低下は進路決定の際に悩みの種になっています。私も3年生の面接指導を毎年していますが、まず、いま日本や世界で何が起きているのか、どう動いているのかを全く知らない人が多いです。これでは、最近気になっているニュースは？とか聞かれると答えられないでしょう。上部（タイトル）だけを覚えていても、面接官に深掘りされると答えられない。そんな人が多いです。

ネットでも多くの情報が発信されています。しかし、タイトルと要約のみ読んで面接に挑むと残念ながら答えられなかったり、焦ってその後の質問が理解できなくなり、うまく答えられずに終わってしまうことがあります。そうならないようにその記事の中身をよく読むのが必要です。また、同じ事件の他の記事を探して読んでみるなど、多角的に捉えて自分なりの意見を作ってみてください。

## \*\* インターネットの情報は疑いを持って捉える \*\*



みなさんはネットの時代「情報化社会」に生まれて育ってきています。インターネットで様々な情報が瞬時に検索できる時代です。便利ですね。しかし、検索すれば出てくるとなると人間は覚えません。実は覚えることは脳には大きな労力なのです。無意識に必要なと思う情報を覚えることを避けているのです。覚える（暗記）が苦手な人は「情報化社会」の弊害といってもいいのかもしれない。

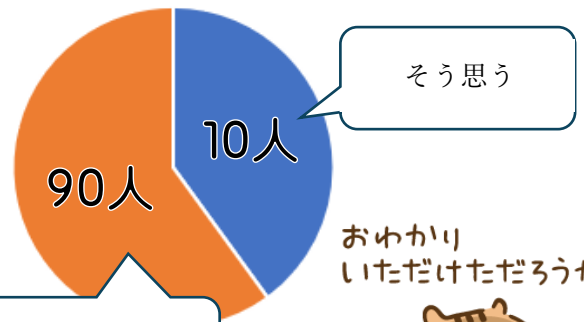
そんなインターネット情報ですが、デマや間違った情報も多くあります。皆さんはそれを鵜呑みにしていないですか？

先日、とあるニュース番組でこんな感じのグラフがありました。

〇〇について100人に聞いてみました！

・・・何がおかしいでしょうか。

すぐわかりましたか？



グラフ比率がおかしいですね。

テレビやインターネットなどで出てくるグラフは、操作されたものがあります。

**だまされないぞ！** という思考で見て学んで理解していきましょう。



## ☆11月（霜月）の行事予定・月訓『読書』

1	金	3時限授業	11	月	後期生徒会選挙	21	木	
2	土	学校説明会・相談会	12	火		22	金	あいち県民ホリデー 
3	日	文化の日 	13	水		23	土	勤労感謝の日
4	月	振替休日	14	木	常任委員会	24	日	全商ビジネス文書検定
5	火		15	金	計算技術検定	25	月	二学期期末試験①
6	水		16	土	保護者会・後援会研修会	26	火	二学期期末試験②
7	木		17	日		27	水	二学期期末試験③
8	金	ベネッセ総合学力テスト	18	月	身だしなみ指導	28	木	二学期期末試験④
9	土		19	火		29	金	二学期期末試験⑤
10	日	全商ビジネス計算検定	20	水		30	土	学校説明会・相談会

## ☆コラム スイッチを閉じると電気は流れるのか？

先日、自分自身が常識であると考えていたことが、実はそうではなかったと思う瞬間があった。電気科の授業中に回路の動作を考える問題で、生徒に全く説明内容が伝わらない。スイッチを閉じたら回路が成立し、電流が流れるというのが私の常識であった。しかし、生徒は、扉を閉じれば中には入れないのだから、スイッチを閉じたら電気も流れないのでは？という発想であった。このようなすれ違いが、双方の意思疎通を妨げる要因になり得るのだと、目の覚める思いであった。また、同じようなことが、世界中の至る所で起こっているのではないかと思う。それぞれが、自分自身の常識だけで判断するのではなく、相手の立場になって物事を考えることができる社会を求めたい。まずは教室の中から始めていきたい。 ～ 1st Grade Teacher Okubo ～